

～「ヴィラベルディ」地域ネットワーク構築事業～

家具の町大川で、パティオを有する商店街。地域団体等との連携で住民のライフスタイルを彩る多彩な事業を展開。商店街が地域の商業活動とコミュニティ機能の中核としての役割を果たし、幅広い世代の利用客を呼び込んでいる。

所在地：福岡県大川市大字榎津325-2
 TEL：0944-87-6952 FAX：0944-87-7406
 URL：<http://www.villaverde.info/>
 組合員数：6名
 商店街の類型：地域型商店街

商店街の概要と事業を実施した背景

大川商店街協同組合は大川市の中心部に位置し、パティオ（中庭付共同広場）を有する商店街で“ヴィラベルディ”の愛称で地元で親しまれている。一方、大川市の基幹産業である木工家具産業の縮小等による人口減少に加え、近年は郊外型大型店の進出などの要因から利用客が減少し、商店街の活力が失われつつある。そこで、地元企業や団体などと連携し、子育て世代のニーズを基にした多様な事業を開催することで集客の増加を図り、中心市街地の商業の核としての役割と、地域コミュニティの拠点としての機能強化を目指した。



実施した事業の概要

①夏祭り（夜市）（平成25年7月20日、27日開催）

例年開催している土曜夜市を継承し、夏祭り（夜市）を開催した。パティオ内に金魚すくい、駄菓子屋や屋台村を出店。地域で活動している団体を誘致して和太鼓、フラダンス、ベリーダンス、バンド演奏なども披露し、来街したお客様に楽しんでもらった。ファミリー層を中心に2日間で1,290名の来街者となり、商店街に活気が戻り賑わいを見せた。



②カントリーフェア（11月23日、24日開催）

地元住民のみならず他地域からの集客を狙い、大川市の地場産業である家具店や地元雑貨店と連携してフェアを開催した。緑のテントとウッドデッキでカントリー風に仕上げた会場で、家具や雑貨等の展示販売やオークションを実施。さらに、開催時に来街客へのアンケート調査を実施して回答者には景品が当たる抽選会を行い、集客の相乗効果を狙った。DMハガキやタウン誌、フリーペーパーにも掲載して広域にPRした結果、期間中は約1,740名の来場があった。



③イタリアンフェア（12月21日開催）

大川市がイタリアの北部に位置するポルデノーネ市と姉妹都市となっていることから、イタリアンフェアを開催した。音楽と食を堪能していただくため、バイオリン演奏を聴きながらイタリアン料理を味わえる催しを実施。エスプレッソとカプチーノを提供するコーヒー教室なども開催し、幅広い世代層を呼び込み約530名の来街となった。



④子育て支援事業（25年12月14日、26年2月11日開催）

地元ブッククラブや人形劇団のNPO法人与連携し、母親と子供（2歳から7歳）を対象とした絵本の読み聞かせと人形劇を開催した。「窓からの贈り物」他2話の絵本を朗読し、人形劇は「悲しみ」と「喜び」の気持ちを題材とした作品「ノツタリ・ロツタリ」と「パンケーキころころ」の2幕を公演。また、セラピードックと親子でふれあう体験教室も実施し、参加者は2日間で131名となり、多くの子育て世代の関心を集めた。

成果と成功の要因

夏祭りやカントリーフェア、イタリアンフェアについては、商店街が主体となって多彩な企画を実現し、幅広い世代に対し積極的な誘客を図ったことで、商店街に活気が戻った。また、子育て支援事業については、地元のNPO法人の協力を得て、若い母親世代のニーズを捉えたイベントを実施したことが、商店街に必要とされるコミュニティ機能の向上につながったものと考えられる。これは、商店街の女性スタッフの意見を積極的に取り入れ、イベントの企画・立案、関係機関等の連携を図ったことが成功の要因と推察される。

今後の取り組み

夏祭り（夜市）やイタリアンフェアのイベントについては、地元企業に協力を呼びかけながら継続して開催し、集客力の維持につなげる。また、子育て支援事業は、イベントに参加した母親や子供達から好評で継続して開催して欲しいとの要望が多かった。子育て世代のニーズを取り入れた新たな企画を立案して今後も年間数回開催し、商店街の地域コミュニティの拠点としてのさらなる機能向上を目指す。